

★ 素敵なお人
みつけた!

みよし きらっと★インタビュー

人生をどう楽しく過ごすか?

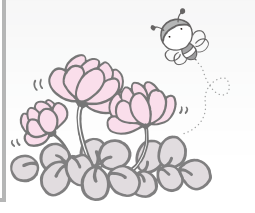


久武 直博さん
(北永井在住)

80歳になってもブログを更新し続け語り部として活躍している中谷さん。
長年歌うことの楽しさを、子どもだけでなく、幅広い年代に指導し続けている久武先生。
お二人にお話を聞きました。



中谷 久子さん
(竹間沢在住)



☆**教員生活の中で男女共同参画の変化は…**
小学校は、女性の教員が多く、職場では男女同等です。産休・育休も整備されて、女性の働く環境に合っていると思います。教育面では、生徒の出席簿は男女一緒にアイウエオ順に、また卒業証書を読み上げる時も「〇〇君」「〇〇さん」と称号を付けて個を大切にしています。昔も今も子どもは変わらないですが、周りの環境や親が変わります。大人が“何を大切にしていくなのか”基本的なことを確認することが大切ですね。

☆**コーラス指導を始めたきっかけは…**
学年ごとのお別れ会で親の出し物として合唱があり、それが「コーラス」の出発点となりました。三芳小学校・唐沢小学校のお母さんのグループが現在の「アマリリス」で38年続いています。またサークル活動として、「高齢大学」では30年。もう一つコピスみよしの“こけら落とし”を記念して発足した、「童謡の会 コール・コピス」は10年目です。長く続けてこられたのは、趣味を持つ生き方はとても素敵だし、何より自分自身が好きだからです。

☆**コーラス指導にあたって、指導方法や皆さんと交流を繋ぐポイントは…**
「声」が楽器なので、“楽しい”ことが一番です。伴奏の方や、時にはボイストレーニングの方に来て頂いています。一人で70~80人の方と交流しますから、一人で頑張らなくてもよいし、皆さんとの一体感、連帯感が生まれます。そして発表が終わった時の充実感は最高で、そこからまたさらに向上を目指す。ゴールのない挑戦です。

☆**学校生活やコーラス活動の中で感動したことは…**
どんなことでも上手くいった時には満足を得ますね。音楽会、発表会、感動は自分のものなので頑張ったことに自己満足がある。感動は同じだけど、大人は表情で表し、子どもは態度で表します。個人的には担任を持って一年間教育活動の目標を達成して子どもと親を送った時、それは、一番の感動の舞台「卒業式」です。

☆**三芳町は…**
都心に出やすいし、緑が多くて景色がいいですね。お奨めのスポットは多福寺・竹間沢こぶしの里(蛸)・三芳ICなどでしょうか。三芳に住んで39年になりますが、赴任当初は上富の教員住宅で、真っ暗でお店もなかったんです。今は団地に住み、団地の理事長や地域の役員も順番で担当しました。退職したら、ボランティア活動などで少しでも町に貢献したいと思います。住んだことへの恩返しをしたいと…。

☆**これからの希望・目標とメッセージを…**
3月に離職した後は、空いた時間は今携わっている3団体のコーラスと自分が所属している東松山のコーラスに使いたい。趣味は旅行。温泉が好きです。目標は、オーケストラを伴奏にコーラスをやりたいですね。今まで仕事があることが自分を支える気力になっていたため、これからは人との関わりを大切にさらに日々成長したいです。人に恵まれてきましたから、誠実に何かの手助けができることが嬉しいですね。



☆**女性の社会進出の変化で感じることは…**
戦後、家庭の事情から女学校を中退し、働かなければなりません。15歳の時、学生に混じって、ノートや学用品を売っていた時は男性も女性も関係ありませんでした。バスガール時代は、男女が平等ではありませんでした。その後、ビルクリーニングをしていた時、ひとつの仕事を極める事の大切さを思いました。

☆**ブログを通じての絆…**
勉強がしたくて70歳の時、通信教育で中学校に入りました。壊れかけのパソコンを譲り受け、ブログ仲間から教えてもらいながら覚え、そして自分のルーツ、戦争のこと等を書き留めたいと思い立ちました。毎日2時間くらいパソコンに向かい、200人くらいがブログを読んでくださっていると思うととても励みになります。ブログで知り合った友人も多く、先日は郡山に出向き戦争の時の体験談等を語ってきました。

ブログURL
<http://hisakobaab.exblog.jp/>

☆**語り部を始めたのは…**
以前から話すことは好きで、目の見えないハンセン病の方に、新聞や近況をテープに起こして送っていた事や、三芳に引っ越してきて「引っ越しうつ」にならないように何かをしたいと思った時、図書館で「かにかにこそそ」の語り部の会があることを知り、即入会。民話を読み込んで、自分の言葉で話します。小学校で語ると子どもたちは一生懸命聞いてくれます。

☆**三芳町は…**
三芳町に来て6年たちました。緑が多く8階からの見晴らしがとっても良かったので決めました。地図が好きで、広報紙等で情報を得ると、そこまでは何キロあるのか、この距離だと歩けるのか判断します。以前は、上富のお祭り・北永井のお祭りもカメラを持ち出かけていました。出かけることも好きなので、地図をたよりにどこへでも行きたいが、現在は足が痛くて思うようにいかない。それでも町内の祭り等細かな情報をもっと知りたいと思っています。

☆**みんなに伝えたいメッセージは…**

- 何かに打ち込んでいる人は輝いています。
- 仕事は、選り好みしなければいくらでもあると思います。
- 就職先が見つからなければ自分でやってみる事です。
- 底辺を這いずってでも、生きて行きましょう。

***** インタビュアーの感想 *****
気さくでどこでも声をかけられる久武先生。「ストレスはあまり感じないほうですから、“楽しく”を心がけてきました」と永年コーラス指導に携わられた心情を笑顔で語られました。これからも健康で、いつまでも三芳町に男性・女性の素敵な歌声をつなげ、広げていただきたいと思いました。
(インタビュアー 山崎・志村・富澤)

***** インタビュアーの感想 *****
何事にも前向きで、何にでも興味をもって沢山のひとと接し、会話することが元気でいられる源かもと笑顔を見て思いました。そして、自分の身体と向き合い、無理せず生きることの素晴らしさを感じました。
人生経験豊富な方だから語れることと実感しました。
(インタビュアー 神奈川・齊藤・濱砂)